



神奈川県畜産情報

発行所
神奈川県畜産会
横浜市磯子区西町14-3
畜産センター内
電話 045(761)4191
FAX 045(759)1162
発行人
志村善一

神奈川県畜産会のホームページ
「かながわ畜産ひろば」
[http://kanagawa.lin.gr.jp/index.htm]

毎月1回(1日)発行

[神奈川県畜産情報(平成18年1月号以降)はホームページでもご覧になれます]

定価1部10円(1年100円)
会員の購読料は会費に含む

第五回神奈川県「わくわくモーモースクール」を開催

子どもたちが乳牛とのふれあいを通じて命の尊さや食の大切さを学ぶ、「わくわくモーモースクール」を県酪農教育ファーム推進委員会(事務局 県酪農業協同組合連合会)が主催で、平成二十五年二月二十日(水)、横浜市立間門小学校(横浜市中区本牧間門)にて開催しました。

この間門小学校には、全国でも珍しい海水水族館があり、東京湾や本牧漁港近海で泳いでいた魚がたくさんいて、一般開放もしており、誰でも見る事ができます。

今回は全学年(五百七十三名)が参加する学校に、県内の酪農家六名と日本大学生物資源科学部の方々の協力により搾乳体験・子牛とのふれあい(ブラッシング)・牧場の話をしました。搾乳体験では「大きい」「牛乳があつたかい」など子供達は声を出していました。子牛とのふれあいでは「ふわふわしてる」「あつたかい」など感想が聞かれた。牧場の話コーナーでは酪農家を使用しているミルクカーに指を入れ吸引の力の体験や餌などに触れ驚く姿がみられた。

また、教室では各乳業メーカーの協力を得て、「工場」で牛乳が製造され、学校に届くまでの過程のVTRの放映(映画)や「生乳」からの様な食品が作られているか(森永乳業)を行い、製品なども展示した。

家庭科室では、バター作り体験(雪印メグミルク(株)・タカナシ乳業(株))を実施し、自分達で作ったバターをクラッカーに塗り試食してもらった。その他、県環境農政局農政課畜産課・県農業技術センター畜産技術所・県大野山乳牛育成牧場の方々により、牛の体の構造についての授業も行った。とても寒い一日でしたが、インフルエンザ等で、学級閉鎖も無く、ほとんどの子供達が参加し、体験してもらったことができた。また全学年が授業参観ということも

あり、たくさんの保護者さんが来られ、酪農や牛乳について楽しく学んでもらうことができたと思います。

今後も毎日学校で飲んでいる牛乳が、どの様な過程で作られていることや酪農の仕事や牛乳製品への理解を深めてもらうため、「わくわくモーモースクール」を開催して行きたいと思っております。
(原酪連 総務部)



牛IBR単味ワクチンの取扱い終了について

農林水産省の生産農場清浄化支援対策事業において、牛IBRワクチンに係るワクチン接種補助が終了したことから、平成25年度より当会における牛IBR単味ワクチンの取扱いを終了することとしましたのでお知らせ致します。
(神奈川県畜産会家畜衛生部)

畜産技術検討会(養豚関係)及び養豚講演会の開催

今後、起こりうる諸外国畜産物との販売競争に対抗できる安定かつ経済的な国内生産技術を見出すため、県畜産技術所、全農、神奈川県本部、県獣医師会、県養豚協会、県畜産技術協会(順不同)との共催により、情報発表会及び講演会を次のように開催いたします。

日時：平成二十五年三月十九日(火) 午後一時から
場所：オークラフロンティアホテル海老名3F ラ・ローズ
海老名市中央2-9-50

【内容】

- 《県畜産技術所 現地情報・研究情報発表会》
十三時～十五時
①畜産経営への自然エネルギー導入の取り組み 川村英輔 主任研究員
②ブタの体表温度と妊娠の関係 主任研究員 西田浩司
③胚の輸送と非外科的移植を利用した種豚導入技術の検討 主任研究員 坂上信忠
④養豚に関する情報提供 普及指導課
《事例発表会》
十五時～十五時三十分
①養豚協会青年部の発育調査における飼料の種類と畜舎温度等の影響について 神奈川県養豚協会青年部 (有) 白井農産 加賀広道氏
《養豚関係団体講演会》
十五時三十分～十七時
①生産現場における豚の繁殖技術と経済性 麻布大学 獣医学部獣医学科 内科学第一研究室 伊東正吾氏 (経営指導部 橋本)

肉用牛技術講習会の開催

肉用牛肥育技術向上と経営の安定化を図るため、県畜産課、県畜産会、全農神奈川県本部、県畜産技術協会との共催により、講習会及び肉牛関連事業の説明会を次のとおり開催します。

日時：平成二十五年三月十三日(水) 午前十時三十分から
場所：伊勢原市農協本所 3階大会議室
伊勢原市二五〇

【講演会】

最新の肉牛飼養管理のポイント(もう一歩肉質を向上させるには) 午前部：十時三十分～十二時
「肉用牛の飼養管理について」 午後部：十三時～十四時
「ビタミンAコントロールについて」
講師：元全農飼料畜産中央研究所 全農畜産技術指導員

滝川幸人氏

【説明会】十四時～十五時
①(和牛)肥育経営緊急支援対策(県素牛購買支援融資)事業について
②「かながわ産牛肉地産地消推進事業について」
説明：県畜産課畜産振興グループ 仲澤慶紀主査
(お問合せ：神奈川県畜産会 経営指導部 倉迫)

新マルキン事業

平成二十四年度の補填金交付について
肥育牛生産者を取り巻く情勢が大変厳しいことから、平成二十三年度第2四半期以降の補填金について毎月交付が続いております。毎月の個体登録・販売申出報告の漏れがないようにご留意下さい。

【二十四年度第3四半期十一月及び第3四半期十二月販売牛の補填金単価報告】
○十一月販売牛補填金単価
肉専用種 八、三〇〇円
交雑種 九一、二〇〇円
乳用種 七〇、九〇〇円

肉用子牛生産者補給金制度

★補填金交付日
平成二十五年一月二十三日
○十二月販売牛補填金単価
肉専用種 〇円
交雑種 五二、一〇〇円
乳用種 六八、〇〇〇円
★補填金交付日
平成二十五年二月二十五日
(経営指導部 倉迫)

TPPでも農業守れ 日本酒の原料は日本米だね

東日本大震災から2年が経ちました。被災地の方々が手作業で瓦礫を片付けている写真を拝見しましたが、さぞお寒いことと存じます。夕方に作業が終了に帰ると暖かいご飯が待ち遠しい事でしょう。このありがたい食料の生産過程を農業者以外の方々はどの程度まで認識しているのでしょうか。

二月三日(富士山の日)、安倍首相はオバマ大統領と会談し環太平洋経済連携協定(TPP)を結ぶための交渉に参加することの見通しを表明しましたが、米、麦、乳製品、牛肉等の農産物への関税を守り、日本の食糧自給を減退させない見通しがついているのでしょうか。日本の米が衰退したら日本酒が出来なくなりますが、中国から輸入した穀に心配されていた発ガン性物質・マラカイト

新むらすずめ

方国民の胃袋を、健康を、農業の大切さを本気で考えているのでしょうか。裕福な株主や産業界、消費者の目先の利益だけに惑うてほしいものです。

TPPばかりでなく、アベノミクスの三本の矢の①金融政策②助成政策によって株価が上がりに、円安となり、輸出産業を黒字に転

平成二十五年死亡牛の届出受付、受入日程について

平成二十五年年度の家畜保健衛生所における死亡牛(二十四ヶ月齢以上)の届出受付、受入日程を次のとおり(別表：死亡牛届出受付、受入日程)としましたのでお知らせします。

引き続き、死亡牛BSE検査の円滑な実施へのご協力をお願いします。
(県畜産課安全管理グループ)

平成25年度 死亡牛届出受付日程

月	火	水	木	金	土	日
4月	1	2	3	4	5	6
5月	8	9	10	11	12	13
6月	15	16	17	18	19	20
7月	22	23	24	25	26	27
8月	29	30				
9月						
10月	1	2	3	4	5	6
11月	8	9	10	11	12	13
12月	15	16	17	18	19	20
1月	22	23	24	25	26	27
2月	29	30				
3月						
4月	1	2	3	4	5	6
5月	8	9	10	11	12	13
6月	15	16	17	18	19	20
7月	22	23	24	25	26	27
8月	29	30				
9月						
10月	1	2	3	4	5	6
11月	8	9	10	11	12	13
12月	15	16	17	18	19	20
1月	22	23	24	25	26	27
2月	29	30				
3月						

地方競馬の収益金は畜産振興に役立っています。

川崎競馬開催日

25年4月15日(月) ~ 4月19日(金)
ナイター開催

<死亡牛届出連絡先>

連絡先(電話番号、FAX)	所管区域
県中央畜産保健衛生所 電話：046-238-9111(代表) 携帯：080-3403-0157 FAX：046-238-9124	横浜市、川崎市、横須賀市、鎌倉市、逗子市、相模原市、三浦市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、三浦郡、愛甲郡
湘南家畜保健衛生所 電話：0463-58-0152(代表) 携帯：080-3403-0156 FAX：0463-58-5679	平塚市、小田原市、秦野市、伊勢原市、南足柄市、中郡、足柄上郡、足柄下郡、藤沢市、茅ヶ崎市、高座郡は県中央保死亡牛保管施設へ搬入

※休日のみ、死亡牛の届出は携帯電話をお願いします。

じ、企業を強くするのは結構だけれど、最後の三本目の矢③成長戦略で労働者の賃金も上げて下さいよ。デフレ脱却で物価は上がった、賃金据え置き、では日本経済は元気が出ないよ。でなければ悪いよ。

ア あべこべだ
ベ ベースアップは
ノ ノーだって？
ミ 皆の
ク 暮らしては
ス すかんぴん(素寒貧)と
こうなったんじゃ日本経済の按配ミソクソだ。
頼むよ！TPPと三本目の矢を。今夜も日本産の安全安心な乳肉卵の豊富な蛋白で安らぎを、そして日本米で作った日本酒をゆっくり飲んで眠りたい。今宵ばかりでなく、ずっとこの先までも。
(忠九朗)

研究情報

高品質な自給飼料生産で飼料自給率をアップ

昨今の穀物、飼料価格の高騰などにより、畜産経営にかかる経費は増加しています。そこで自給飼料生産に取り組み、購入飼料依存率を引き下げることが経営の安定を図るための一つの手法です。

県内でも夏作の飼料作物として、飼料用トウモロコシやソルガムが作付けられています。当所普及指導課では、県内酪農家の自給飼料生産に取組む畜産農家等に対し、作付けに関するアドバイスをしています。

また、自給飼料生産の多い地域では、毎年サイレイジ共助会が行われています。それ以外の各地域で生産されたサイレイジについてもサイロ開封後、発酵品質を化学分析で確認するとともに、成分分析を当所企画研究課で実施して、その成分分析結果から適切な給与方法についてアドバイスをしています。

また、サイレイジはpHが4・2以下になると酪酸発酵やその他の不良発酵が抑えられます。サイロの型式によるサイレイジのpHを図3に示しました。全体ではpHが4・2を超えたものは、少なかつたです。それぞれサイロ型式で、ばらつきはありますが、ロールベールは比較的に

体内に蓄積されず、草種によって硝酸態窒素の含有量が異なります。植物には硝酸態窒素が蓄積しやすい草種とそうでない草種があり、飼料用トウモロコシやスターグラスのようなイネ科牧草は比較的蓄積しにくい草種です。

さらに自給飼料の品質として、硝酸態窒素の含有量も分析しています。家畜が過剰に硝酸態窒素を摂取すると、硝酸塩中毒になる可能性があります。予防のためには、飼料作物に硝酸態窒素が過剰に蓄積しないようにすることが重要です。土壌への過剰な窒素の投入が、植物中の硝酸態窒素蓄積の主要な原因です。

自給飼料中の硝酸態窒素濃度が高くなってしまう場合、影響の出方は、牛によって大きく異なり、慢性的な影響についても明確な結論は出ていません。このようなことから、飼料中の硝酸態窒素の正確な危険水準を決めることは難しいですが、これまでの知見をもとにしたガイドラインが種々の機関から提案されており、硝酸塩中毒予防の目安として利用されています(表3)。

植物は、土壌中に存在する硝酸態窒素を吸収します。光合成によって作られた糖、リン酸により、吸収した硝酸態窒素からタンパク質へと合成され、成長していきますが、家畜の生ふん尿や、窒素肥料等を過剰に施用すると、合成で使われなかった硝酸態窒素が植物

にも、適切な施肥と、適期に収穫することは、とても大切です。適切な施肥に関しては、数年に一度、土壌分析を実施し、土壌の状態を確認することもおススメします。

二、今年の夏作トウモロコシの作付けに向けて
飼料用トウモロコシの場合、一般的に乾物収量(TDN収量)が最大になるのは黄熟期です。栽培のポイントとしては①播種時期と播種密度②雑草防除などが上げられます。

①栽培密度を高めることにより、雌穂の数や一穂あたりの子実数が少なくなりますが、単位面積あたりの子実収量は増加します。しかし、1穂あたりの子実数減少により、ある栽培密度以上になると、その有用性は相殺されます。最適な播種密度は、品種、栽培する地域および、播種時期によって決定します。

また、プランターの播種板と種子のサイズを完全に合わせ、確実な1粒点播が安定収量の決め手です。また土壌害虫の防除、鳥害対策で欠株の防止をおこないます。

②飼料畑では雑草が繁殖することにより、害虫の発生、収穫作業性の低下だけでなく収量やサイレイジの品質の低下にもつながります(図5)。除草剤の散布は土壌処理+茎葉処理の体系を基本に、発生雑草に合った防除が基本

となり、今年も夏作飼料作物の作付けの時期が近づいてきました。少なからず労力や経費がかかる自給飼料栽培ですが、栄養性が高く、安心して家畜に給与できる良品質の自給飼料を生産することは、経営向上につながるでしょう。

飼料作物の作付け体系や、肥培管理、雑草防除に関することや、自給飼料を組み合わせた適切な飼料給付に関する、改善したいと思われることがある方は、お気軽に当所普及指導課までご相談ください。(農業技術センター 畜産技術所 普及指導課 齋藤直美)

野鳥は、とうもろこし等の重要な栄養成分を盗み食いするだけではありません。その糞により、餌や水が汚染されることで、病気を媒介する可能性があります。過去に、「サルモネラ症」や「ボツリヌス症」が発生した牛飼養農家で、カラス等の野鳥が多くみられており、感染源となったのではないかと疑われるケースがありました。開放的な畜舎での防鳥ネットの設置は、手間がかかる上に日常の作業の邪魔になり、なかなか取り組みにくいのではないかと思います。しかし、大きな問題が発生する前に、ぜひ防鳥ネットやカラス除けの設置、野鳥が侵入するような隙間をふさぐ等の野鳥対策に取り組んで頂きたいと思えます。今年も健康な家畜を育て、安全・安心な畜産物の生産を続けて頂くよう、よろしくお祈りします。(湘南家畜保健衛生所 松尾)

図1 乾物率とTDN(DM%)

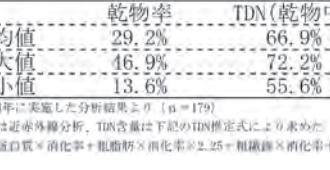


図2 乾物率とCP(DM%)

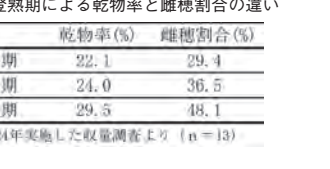


表1 トウモロコシサイレイジの分析結果

	乾物率	TDN(乾物中)	CP(乾物中)
平均値	29.2%	66.9%	8.1%
最大値	46.9%	72.2%	10.3%
最小値	13.6%	55.6%	4.9%

表2 登熟期による乾物率と離穂割合の違い

登熟期	乾物率(%)	離穂割合(%)
乳熟期	22.1	29.4
糊熟期	24.0	36.5
黄熟期	29.5	48.1

図3 サイロの型式とpH(H20~24)



図4 乾物率と硝酸態窒素

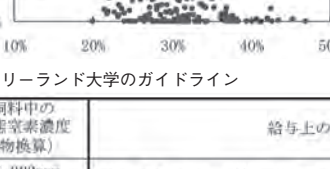
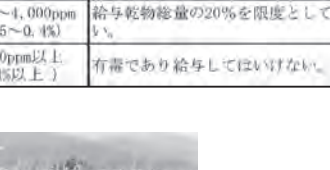


表3 メリーランド大学のガイドライン

粗飼料中の硝酸態窒素濃度(乾物換算)	給与上の注意
0~1,000ppm(0~0.1%)	充分量の飼料と水が給与されていれば安全
1,000~1,500ppm(0.1~0.15%)	妊娠牛以外は安全。妊娠牛には、給与乾物総量の50%を限度として使用。場合によっては、牛が飼料の摂取を停止したり、生産性が徐々に低下したり、流産が起こったりする可能性がある。
1,500~2,000ppm(0.15~0.2%)	すべての牛に対して、給与乾物総量の50%を限度として使用。
2,000~3,500ppm(0.2~0.35%)	給与乾物総量の35~40%を限度として使用。妊娠牛には給与しない。
3,500~4,000ppm(0.35~0.4%)	給与乾物総量の20%を限度として使用。妊娠牛には給与しない。
4,000ppm以上(0.4%以上)	有毒であり給与してはならない。

図5



家保だより

野鳥対策について
今年の冬は、例年以上に寒さが厳しく感じられます。野鳥達も寒い冬には餌が少なくなるため、いつも増して美味い餌にありつこうと、皆さんの農場にお邪魔しているのではないのでしょうか。さて、皆さんの農場の野鳥対策はどのようになっていますか? 養鶏農家の皆さんは、高病原性鳥インフルエンザ等への対策のため、防鳥ネットの整備は万全にされているかと思いますが、一方、牛飼養農場では、牛舎内に多数のカラスやハトが飛来し、飼槽に鳥の糞が落ちてくるような例をみかけることがあります。また、農家の方から野鳥の飛来で困っているとのご相談を受けることもしばしばあります。(農業技術センター 畜産技術所 普及指導課 齋藤直美)

大野山たより

鹿やイノシシによる被害が全国で増えていますが、本牧場でもここ数年、かなり増えてきているようです。トラやライオンの猛獣の糞が忌避材として利用できないかとの職員アイデアで動物園から冷凍した猛獣糞を入手し、現在試験中です。肉食動物の猛獣は一日でくわすかしか糞をしないので、我々のために毎日冷凍して貯めてくれた貴重な糞です。この糞が雨で流れてしまわないようにペットボトルの中空に垂らした簡単な構造です。臭いの拡散を良くするため周囲に穴を開け、底を抜いたこのペットボトルを採草地周囲の杭や有刺鉄線にぶら下げました。その数、百五十本は優に足りています。ペットボトル調達のためでもないですが、夏に一生懸命ボトルを飲み干してくれた職員のおかげです。

大野山たより

「大野山たより」を書かせていただき三年になりますが、いよいよ定年退職を目前にして最後の稿となりました。(大野山乳牛育成牧場長 青木)